



重要情報シート（個別商品編） 投資信託 回答例

項番	質問	回答
商品の内容		
1	あなたの会社が提供する商品のうち、この商品が、私の知識、経験、財務状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという根拠は何か？	当社では、「お客様の笑顔のために」を経営理念の一つとして掲げ、お客様へ金融商品の販売・サービスの提供等を行うにあたり、お客様のご意向を十分にお伺いした上で、お客様の立場に立って十分な説明を行うように努めます。また、当社は対面による営業姿勢を貫いており、お客様との対話を前提に、お客様の資産状況・取引経験・知識および取引目的・ニーズに沿った金融商品・サービスの提供を心がけております。 なお、ご希望の商品がお客様の投資目的に適合しない場合は、ご購入をお断りする場合もあります。
2	この商品を購入した場合、どのようなフォローアップを受けることができるのか？	当社は、対面にて営業を展開しておりますので、ご購入された商品について説明をご希望の際には、担当する営業員が懇切・丁寧にご説明いたします。投資信託については、定期的（半年に一度）に運用報告書が作成され、投資いただいた皆様へ提供いたします。運用報告書とは、投資信託の決算内容を記載した開示文書で、運用成績や資産状況、今後の運用方針等が記載されています。 また、当社の取扱い銘柄によっては、運用会社によるフォローアップのためのWEBセミナーやオンライン運用報告会を開催しており、お客様もご参加いただけます。この他にも、ホームページにおいて各商品・サービスの内容・手数料・リスク等を分かりやすく表示するよう工夫に努めてまいります。
3	この商品が複数の商品を組み合わせたものである場合、個々の商品購入と比べてどのようなメリット・デメリットがあるのか？	投資信託は一般的に複数の金融商品（株式、債券、投資信託等）を組み合わせた商品です。投資信託に投資する主なメリットは、少額で分散投資できることです。また、運用知識や経験を有する運用の専門家が、お客さまに代って運用を行います。主なデメリットは、購入時の手数料や運用管理費用（信託報酬）等がかかることです。
リスクと運用実績		
		基準価額の変動要因等の投資リスクの詳細については、各投資信託説明書（交付目論見書）でご確認いただけます。 保有する商品の特性によって、以下のリスクを含む場合があります。

4	上記のリスクについて、私が理解できるように説明してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 価格変動リスク：実質的に運用する資産の価格が下落するリスク ・ 為替変動リスク：外貨建資産について、為替レートの変動により下落するリスク ・ 流動性リスク：投資する資産の流動性が低下することで期待する価格で売買ができないことにより下落するリスク ・ 信用リスク：発行体の経営状態の悪化等により当該有価証券の価格が下落するリスク ・ カントリーリスク：投資対象国・地域の政治、経済および社会情勢の変化により価格が下落するリスク
5	相対的にリスクが低い類似商品はあるのか。あればその商品について説明してほしい。	投資信託のリスクは組み入れている資産の特性により異なります。一般的には株式より債券の方がリスクを抑えた運用になります。また、外貨建ての有価証券に投資する投資信託よりも、円建ての有価証券に投資する投資信託や為替ヘッジつきの投資信託の方が、一般的にはリスクが低いと考えられます。
費用		
6	私がこの商品に100万円を投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してください。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 購入時に支払う費用：手数料＝購入金額×手数料率（税込み） ※手数料率は購入金額によって異なる場合があります、詳細は目論見書補完書面でご確認ください。 ・ 継続的に負担する費用（信託報酬＝投資信託を管理・運用する為の経費） 信託報酬＝投資残高×信託報酬率（税込み） ※信託報酬率は目論見書等をご確認ください。 <p>【例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 購入時手数料率3.3%（税込み）、信託報酬年率1.881%（税込み）の投資信託を100万円購入した場合 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 購入時手数料：100万円×3.3%＝33,000円 ▪ 信託報酬（年間）：100万円×1.881%＝18,810円 <p>・ ただし、上記の信託報酬は、基準価額に変動がない前提で計算しています。実際には基準価額は変動し、信託報酬は日々計算されるため、上記と異なる金額になります。また、換金時に信託財産留保額がかかる場合があります。詳しくは目論見書でご確認いただけます。</p>
7	費用がより安い類似商品はあるか。あればその商品について説明してほしい。	営業担当者にご相談ください。
換金・解約の条件		

8	<p>私がこの商品を換金・解約するとき、具体的にどのような制限や不利益があるのかについて説明してほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・投資信託の換金時には、信託財産留保額や換金時手数料がかかる場合があります。 ・各投資信託の購入・換金申込不可日には、購入・換金のお申込みの受付を行いません。また、投資信託によっては運用に支障をきたさないために、大口の換金に対して受付時間や金額の制限を行う場合があります。 ・投資信託の申込時間には制限があり、また、受渡日までに日数がかかります。 ・投資信託を短期間で解約した場合、保有期間あたりの購入時手数料が長期間保有対比で割高になります。詳細は、目論見書補完書面の「（ご参考）購入時手数料に関するご説明」の例をご確認ください。 ・換金・解約に関する事項の詳細は、目論見書の「購入・換金申込不可日」「換金制限」「購入・換金申込受付の中止及び取消し」「信託財産留保額」「換金時手数料」欄でご確認いただけます。
---	--	---

当社の利益とお客様の利益が反する可能性

9	<p>あなたの会社が高得手数料が高い商品など、私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先した商品を私に薦めていないか。私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先する場合、あなたの会社ではどのような対策をとっているのか。</p>	<p>当社では、法令諸規則のみならず社会通念や良識に照らし合わせ、高い倫理観を持って業務に取り組みます。お客様に対して適切ではない取引が行われることのないよう、お客様との利益相反の可能性を把握し、適切に管理します。お客様との間の利益相反の可能性を十分把握し、適切に管理するため、利益相反管理方針を策定、公表しています。</p>
---	---	---